

平成30年度日本行政書士会連合会定時総会、 第38回日本行政書士政治連盟定期大会

標記の件、平成30年6月21日（木）から22日（金）の2日間、東京都港区「シェラトン都ホテル東京」において盛大に開催されました。

連合会定時総会では、第1号議案：平成29年度事業報告から第2号議案：平成29年度決算報告、第3号議案：日本行政書士会連合会会則の一部改正（登録申請時の添付書類「戸籍抄本」を原則不要とする旨）、第4号議案：行政書士会館の日本行政書士会連合会の持分を譲渡する件（目黒区青葉台旧会館の連合会持分を東京会へ有償譲渡する旨）、第5号議案：平成30年度事業計画、第6号議案：平成30年度予算まで全て可決。法改正、特定行政書士、成年後見、入管関連等々、白熱した議論が交わされました。

日政連定期大会においても、第1号議案：平成29年度運動経過報告から第2号議案：平成29年度決算報告、第3号議案：平成30年度運動方針、第4号議案：平成30年度予算、第5号議案：日本行政書士政治連盟規約の改正（字句の訂正）まで全て可決されましたが、成果のみえにくい政連活動の故か、一部代議員の不信感は強いものがあり、議場が紛糾する場面もありました。

なお、総会に先立ち、平成30年度表彰授与式があり、東北支部の古川正美会員が総務大臣表彰を受賞されたことを申し添えます。おめでとうございます。

定時総会・定期大会の議案書・質問書等関係資料を閲覧希望の方は、茨城県行政書士会事務局までご連絡下さい。

（代議員 嶋田 広一）



日行連総会



本会代議員



野田総務大臣をはじめ多数の御来賓をお迎えした懇親会



公明党山口代表を囲んで